



※ 協議体の目的やしくみなどについて、3ページに詳しく掲載しています。

令和4年1月7日(金) 野村保健福祉センターにおいて、第1層協議体(せいよ支え合い推進会議)を開催しました。
この会議は、西予市社会福祉協議会が西予市から委託を受けて取り組んでいる生活支援体制整備事業により開催するもので、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう支援するため、関係者の情報共有やネットワークの構築などを目的としています。
会議には、元聖カタリナ大学教授で第1期西予市地域福祉活動計画の策定にもご協力をいただいた、新見公立大学教授の高杉公人先生より、まず「生活支援体制整備事業と協議体について」と題した講演をいただきました。
つづいて、委員長及び副委員長の選出を行い、委員長の司会により、意見交換や事業についてのご提言をいただきました。次年度も引き続きこの会議を開催し、「みんながささえあい」にして安心が体感できるまちづくりにつなげていきたいと思えます。

第1層協議体(せいよ支え合い推進会議)を開催しました

共に支え合うまちづくりを目指して

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

ご協力ありがとうございます



令和3年度の共同募金運動では、多くの皆様から心温まるご支援をいただき、誠にありがとうございました。昨年10月からの運動期間中、地域や職場、学校、街角など様々な場所で、様々な形でご協力をいただきました。

皆様から寄せられました募金は、愛媛県共同募金会を通じ、西予市をはじめ、県下の社会福祉向上に役立てられます。また、災害時には、「災害ボランティアセンター」の設置や運営等、被災地支援にも役立ち、平成30年7月豪雨では西予市をはじめ、県内の各被災地でも活用されました。

今後とも、共同募金の趣旨をご理解いただき、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

※ 令和3年度の実績は、2ページに掲載しています。

赤い羽根共同募金 配分報告



令和3年度事業用の配分金により、西予市宇和町の「まつば共同作業所」で軽トラック荷台幌一式の整備が行われました。

雨の日でも古紙回収などの作業が出来ると、大変喜ばれています。

令和3年度 共同募金・歳末たすけあい募金 実績

共同募金実績額 9,085,780円

(単位：円)

| 地区名 | 本所(野村) | 明浜支所 | 宇和支所 | 城川支所 | 三瓶支所 |
|--------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|
| 戸別募金 | 1,169,500 | 543,717 | 2,188,308 | 530,300 | 1,103,500 |
| 法人募金 | 324,000 | 256,000 | 1,012,000 | 192,000 | 150,000 |
| 学校募金 | | | 78,666 | 6,243 | 2,589 |
| 職域募金 | 317,350 | 102,000 | 502,030 | 112,178 | 90,500 |
| イベント募金 | | | 3,067 | | |
| 個人募金 | 105,940 | | 96,000 | | 130,000 |
| その他の募金 | 21,495 | | 31,449 | 16,947 | 1 |
| 合計 | 1,938,285 | 901,717 | 3,911,520 | 857,668 | 1,476,590 |

歳末たすけあい実績額 3,414,413円

(単位：円)

| 地区名 | 本所(野村) | 明浜支所 | 宇和支所 | 城川支所 | 三瓶支所 |
|------|---------|--------|-----------|---------|---------|
| 戸別募金 | 700,655 | 84,555 | 1,431,603 | 313,800 | 883,800 |



西予市宇和町の「ハーモニーきらら」へ、義援金をお届けしました。

養護施設義援金 32名・支度金 3名
 子ども療育センター 13名
 福祉施設特産品 28施設
 入所者634名

歳末たすけあいの配分として、西予市内の養護施設及び西予市出身で市外の養護施設に入所している児童に対し、義援金及び支度金の配布を行い、西予市出身で子ども療育センターに長期入所している児童に対しても義援金を配布しました。また、西予市出身者の入所している南予地区の施設に対して、ふる里西予市の特産品をお届けしました。

歳末たすけあい配分報告

歳末たすけあい「お餅」の配布

令和3年12月22日(水)、野村地区民生児童委員協議会の協力により、野村地区内の80歳以上の一人暮らし高齢者など見守りを必要とする方を対象に、「お餅」の配布を行いました。

192世帯(201人)の方々にお届けし、民生児童委員さんから年末年始の様子などの安否確認も併せて行いました。



協議体(せいよ支え合い推進会議)について

■協議体(せいよ支え合い推進会議)とは

協議体(せいよ支え合い推進会議)は、地域の多様な主体がメンバーとなり、今やっていることや無理なく、今できることをみんなで話し合う仕組みになります。

既にある「支え合い活動」など地域の情報を共有したり、将来に向けて「自分たちのまちをどのような地域にしたいか」などを話し合ったりします。

その中で、住民同士のつながり・見守り活動・趣味や体操等による居場所づくりなど、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりをできる範囲で考えていきます。



地域の皆さんと一緒に「支え合い活動」について考えていきます。

■第1層協議体と第2層協議体

協議体には第1層と第2層があり、それぞれ次のような役割を果たします。

第1層(市内全域)
西予市全体の高齢者福祉を考える場

生活課題・ニーズの把握・分析
サービスや担い手の創出・養成

上下関係ではなく、相互に連携・協働する関係

第2層(旧町単位)
地域の課題やニーズをつかむ場

地域課題の把握・共有
課題解決の取り組みの検討

■協議体のメンバーについて

地域の実情に応じて、次の方などにメンバーとなっていただきたいと思えます。

- ・地縁組織(自治会等)
- ・地域住民(ボランティア、サロン関係者等)
- ・地域の関係団体(民生児童委員、地区社協、まちづくり組織等)
- ・地域で生活支援サービス等を提供する事業者等(社会福祉法人、NPO法人、行政、民間企業等)など

令和3年度は市内全体について話し合う、第1層協議体がスタートしました。次年度以降、旧町ごとの第2層協議体もスタートしますので、皆様からのご意見や情報をお聞かせ下さい!

非常勤ホームヘルパー 募集

- ◇応募資格：介護福祉士又はホームヘルパー2級以上の資格を有している方で、普通自動車免許を有する者。
- ◇職種：訪問介護員(ホームヘルパー)
- ◇採用人員：若干名
- ◇雇用形態：パート職員
- ◇勤務地：西予市内(野村本所・宇和・明浜・三瓶)
- ◇勤務日：月曜日～日曜日(都合の良い日要相談)※時間も要相談
- ◇賃金：1時間 910円～1,060円(移動時間も同じ)
- ◇募集期間：随時(お問い合わせください。)
- ◇その他：詳細については、ホームページで確認、またはお問合せ下さい。

住み慣れた自宅で、安心して暮らし続けるために、介護や生活のお手伝いをしています。



【お問合せ・連絡先】
西予市社会福祉協議会
Tel.0894-72-2306

こんにちは！ 西予市地域包括支援センターです



「外で話さんかな」



移動スーパー、
待ちよるんで～

コロナ禍のなか、地域で集うことが少なくなっています。人は、だれかと他愛のない会話をすることで、生活のはりが出たり、楽しみを見出すことも多いと思います。今一度、感染対策をしながら、人との交流をしませんか。

城川地区で、仲良しの4人組にお話をうかがいました。毎週月曜日にやってくる移動スーパーを待ちながら、たくさんおしゃべりしています。



地域包括支援センターでは、 認知症サポーター養成講座を行っています。

認知症サポーターとは、『認知症について正しく理解をし、認知症になった人や介護されるご家族を、地域で見守り支援する応援隊』です。令和3年度は、宇和中学校や安心ネットワーク加盟店のフジ宇和店などたくさんの方へ養成講座を行いました。職場で、個人で、受講してみませんか？



地域で、「認知症のサポーター」
がたくさん増えたら、もっと住
みやすくなりますね～



スーパーフジの
方々も熱心に受
講していただき
ました。



オレンジカフェ「花草家」

カフェ立ち上げの勉強会も終了間近です。
いよいよ、4月にオープンします。



～カフェ立ち上げ勉強会の様子～

2月には、他の市町のカフェの様子や、「継続すること」「人を大切に想うこと」「個人情報の取扱い」について勉強しました。



いつまでも、その人らしく、住み慣れた地域でくらすために

西予市地域包括支援センター

本所 担当地域＝野村町・城川町(市全域をカバー)
電話：72-0022 場所：野村保健福祉センター内
支所 担当地域＝明浜町・宇和町・三瓶町
電話：62-7730 場所：社会福祉協議会宇和支所内



～優しさの見えるまちづくり～

「心のバリアフリー in のむら」が 始まりました



野村地区において、車いす利用者、ベビーカーや手押し車を押す人などを手助けする意思表示として、お店や施設にステッカーを貼っていただく取り組み「心のバリアフリー in のむら」が始まりました！！

この事業は下記の条件を満たし、あたたかい気持ちでご協力いただけるお店や施設の店先にステッカーを貼ることで、「優しさの見える化」を目指した愛媛発の取り組みです。

2月28日現在で西予市内では72（野村地区：67、惣川地区：2、宇和地域：3）のお店や施設にご協力いただく状況となっており、また、随時ご協力いただけるお店や施設募集が行われていますので、皆様のご協力をお願いします。（野村地区以外のお店や施設の皆さまからのお問合せも大歓迎です。）

ステッカーを貼っていただけるお店や施設の条件

- 入り口の幅が70センチ以上あること
- 繁忙時でないなど、お手伝いいただける状況のときに「手伝ってもいいよ」という意思があること

<既存事業との違い>

公共機関などが示すバリアフリーの条件と異なり、物理的な条件を「入口70cm以上」のみに限定し、「手伝ってもいいよ！」の意志表示をいただければ、バリアフリー設備が厳格に整っていないお店や施設でも気軽にご参加いただけるとてもシンプルなものです。

「心のバリアフリー in のむら」についてのお問合せは、野村地域自治振興協議会のフェイスブックページまで、メッセージによりご連絡下さい。



<https://www.facebook.com/Nomura.jichishin/>



野村地域自治振興協議会と西予市社会福祉協議会が協働でお店や施設をまわり、ご協力をお願いしました。

<ご協力いただくお店や施設をご利用される お手伝いを必要とする皆さまへお願い>

この取り組みはお店や施設と皆さま双方の「思いやり」によって成り立ちます。

お店や施設の方にも気持ちよくこの取り組みにご参加いただけるよう、繁忙時でないなど、快くお手伝いいただける環境でご利用いただくことをお勧めします。



トークセッションの様子

令和4年2月26日（土）西予市教育保健センター4階大ホールにおいて、「令和3年度 西予ボランティア研修会」が西予市ボランティア連絡協議会の主催により開催されました。本年度はコロナ禍のため無観客となりましたが、市内のボランティア団体による活動発表やトークセッションなどが行われ、後日、研修会の様子を西予CATVで放送を行っていただきます。

令和3年度西予
ボランティア研修会

まごころ銀行のお礼

(令和4年1月1日～2月28日分)

36件

まごころ銀行にご寄付をいただき、ありがとうございます。

まごころ銀行は、市民の皆様からの善意の預託金(香典返し、お見舞い返し等)をお預かりし、預託された方の意志に基づき「給食サービス」「ふれあい・いきいきサロン」などの在宅サービスの事業に活用され、西予市の社会福祉の推進に役立てております。

【香典返し】 31件

野村 17件

- 金子 喜行 様
- 山口 敬子 様
- 大塚 潔 様
- 田中 徳男 様
- 上口 洋一 様
- 中田 恵美香 様
- 上城 重行 様
- 二宮 憲司 様
- 菊池 繁光 様
- 薬師神 正 様
- 清水 幸樹 様
- 兵頭 幸雄 様
- 井上 洸三 様
- 緒方 清子 様
- 伊原 朋明 様
- 和氣 桂子 様

明浜 2件

- 西村 拓生 様
- 市川 長弘 様

宇和 6件

- 岡部 光保 様
- 三好 フク 様
- 田中 恭子 様
- 谷口 徳太郎 様
- 宇都宮 典子 様
- 三好 章二 様

城川 5件

- 木下 稔 様
- 塩崎 誠 様
- 上田 勇 様

- 河野 義孝 様
- 三瀬 逸雄 様

三瓶 1件

- 加藤 千鶴 様

【預託金】 5件

野村 2件

- 清水 宏道 様

- 愛媛南部ヤクルト販売 (株) 様

宇和 1件

- 愛媛南部ヤクルト販売 (株) 様

城川 1件

- 愛媛南部ヤクルト販売 (株) 様

三瓶 1件

- 愛媛南部ヤクルト販売 (株) 様



地域福祉の将来像を考える住民座談会

令和3年度 野村町

令和4年1月7日(金) 野村公民館において、令和3年度野村町「地域福祉の将来像を考える住民座談会」を開催しました。

座談会には新見公立大学 健康科学部 地域福祉学科 教授の高杉公人先生にお越しいただき、「持続可能な地域づくり」に私たちができること～SDGsと地域福祉活動との関係～と題した講演を行いました。

続いて、地域づくり組織ごとに別れて、グループ討議を行いました。まず昨年度の住民座談会で話し合った「チャレンジ活動」の内容と達成状況について確認を行った後、持続可能な地域のために、次年度1年間で取り組む内容を厳選するとともに、おおまかなスケジュールを立てるなどしました。

次年度は、令和2年度に作成した「第1期西予市地域福祉活動計画」の中間見直しの年となりますので、このような座談会を旧町ごとに開催させていただきます。住民の皆様から地域の課題の解決に向けたご意見を伺っていきたいと思います。

